

カナダ金融政策（2023年9月）

3会合ぶりの政策金利据え置き

2023年9月7日

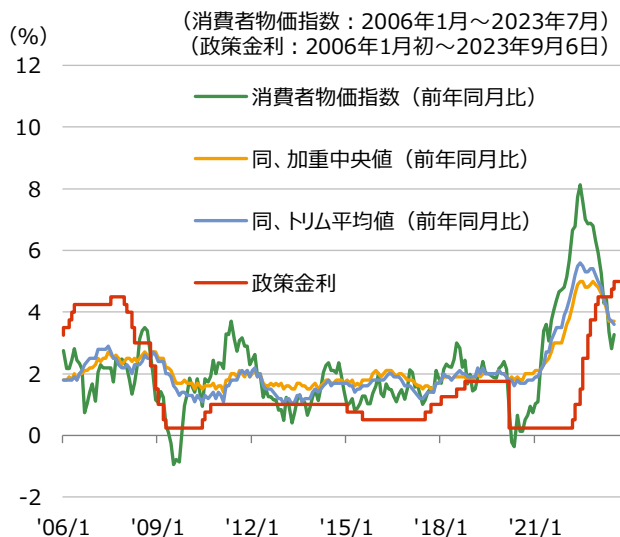
既往の利上げの効果を見極めるべく、年内は政策金利を据え置くと予想

カナダ銀行（中央銀行）は9月6日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を5.00%に据え置くことを決定しました。市場予想通りの決定であり、発表後の市場の反応は限定的でした。

同行は今年1-3月期の驚くほど強い個人消費などを受けて6月と7月に利上げを実施しましたが、9月1日発表の4-6月期の個人消費が顕著に減速し、同期の実質GDPは前期比年率▲0.2%となりました。こうした中、今回の声明文では「経済は低迷期に入った。これはインフレ圧力を和らげるために必要なことだ」と記し、「経済の過剰な需要が和らいでいることを示す最近の証拠を受け、また金融政策の効果が遅れて表れることを考慮し、政策金利を据え置くことを決定した」と説明しています。一方、コアの消費者物価指数（加重中央値とトリム平均値）の前年同月比と3カ月前比年率がいずれも3.5%程度で高止まりしていることなどを背景に、「基調的なインフレ圧力の根強さを引き続き懸念しており、必要ならば更に利上げする用意がある」と利上げ再開に含みを持たせた文言を入れ、全体のバランスを取っている印象です。

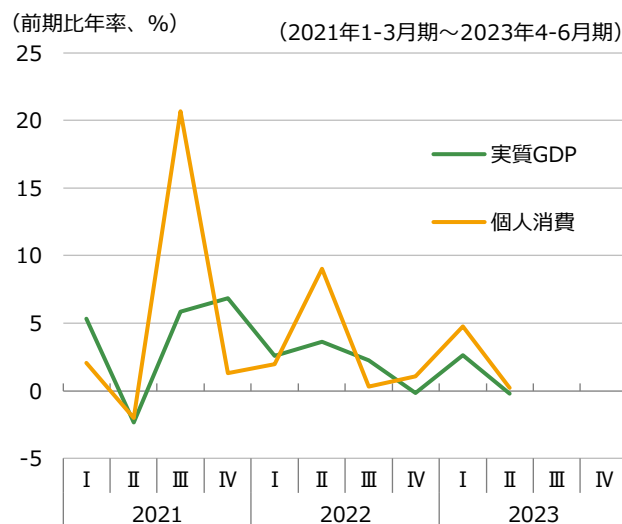
足元の政策金利はインフレ率を明確に上回っており、これまでの利上げが経済・物価に与える影響を見極める時間的余裕があるため、年内は政策金利を据え置くと予想します。カナダ・ドル円に関しては、カナダと日本の大きな金利差がしばらく続くと見込まれることや、最近の原油価格の反発傾向がカナダ・ドル高に働くとみられることから、当面、底堅く推移すると想定されます。

カナダ：消費者物価指数と政策金利



(出所) カナダ統計局、ブルームバーグ

カナダ：実質GDPと個人消費



(出所) カナダ統計局

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management